

令和元年度 財務の概要

福岡北九州高速道路公社

目 次

1. 会計処理の特徴	1
2. 償還準備金積立方式のしくみ	2
3. 収支状況	3
4. 営業中道路の収支状況	5
5. 財務状況	6
6. 償還準備金の積立状況	8
7. 長期借入金の残高状況	9
8. 償還計画と実績の対比	10
9. キャッシュフロー計算書	11
10. 料金収入・通行台数・供用延長の推移	12
11. 供用実績	13

1. 会計処理の特徴

公社では、財政状態や経営成績を明らかにするため、企業会計原則に準じた会計処理を行っています。

＜根拠法令等＞ 地方道路公社法、同法施行規則、福岡北九州高速道路公社会計規程、同規程実施細則

有料道路制度の会計の特徴は

- 有料道路事業制度は、借入金により道路を建設し、お客様からの料金収入により定められた期間内に償還し、償還完了後は無料開放する制度です。
- 毎年度の『収支差』（収入と費用の差）は全て投下資金（借入金）の償還に充当します。

借入金の償還状況を適切に把握するために

- 福岡北九州高速道路公社は、利益を配当する義務がなく、法人税法上の公共法人であるため、法人税を課せられたりすることがなく、収支差の全てを償還に充当します。
- 有料道路事業制度は、無料開放を実現するとの観点から、借入金の償還状況を会計処理において適切に把握するため、新たな設備投資資金を積み立てるという企業会計上一般に採用されている減価償却費を計上する方式は採用していません。

償還準備金積立方式を採用

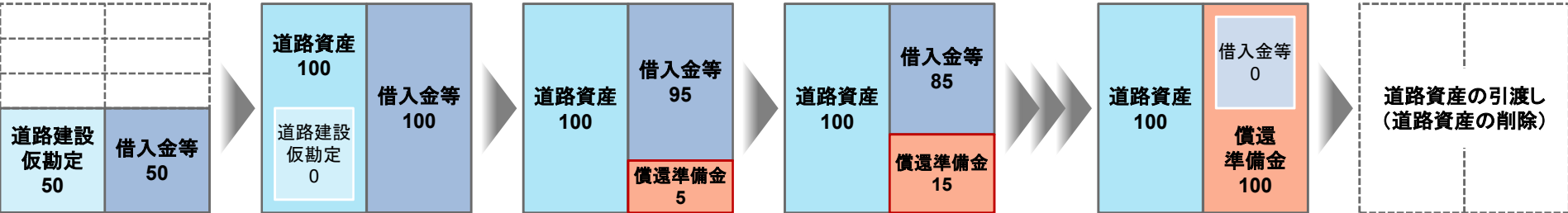
- 借入金の償還に充てられる各年度の『収支差』を『償還準備金繰入』として費用計上し、その累計額を『償還準備金』として負債に計上する方式を採用しています。
- 道路の資産を形成するのに要した費用を積み上げた『道路資産』と借入金の返済に充てる『償還準備金』を対比することにより、償還状況が明確に把握できます。

2. 償還準備金積立方式のしくみ

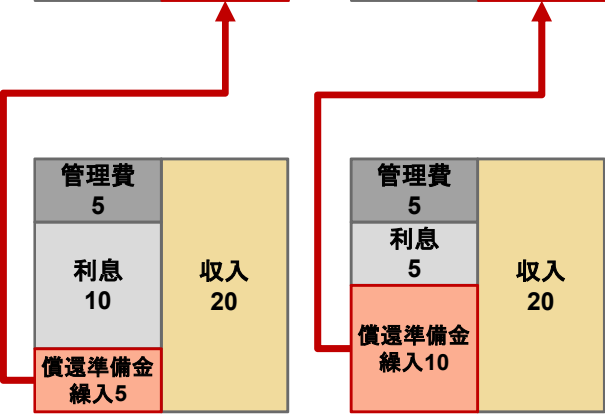
公社の貸借対照表と損益計算書にみる償還準備金積立方式のしくみ



貸借対照表



損益計算書



3. 収支状況

令和元事業年度損益計算書 (平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位:百万円)

費用の部				収益の部			
勘定科目	R1年度	H30年度	増減額	勘定科目	R1年度	H30年度	増減額
	A	B	A-B		A	B	A-B
経常費用	60,819	61,165	△ 346	経常収益	60,843	61,183	△ 340
事業資産管理費	16,065	14,197	1,868	業務収入	60,762	60,873	△ 111
福岡高速道路管理費	11,023	9,688	1,335	道路料金収入	60,118	60,269	△ 151
北九州高速道路管理費	4,908	4,379	530	(福岡高速道路)	42,614	42,589	25
福岡駐車場管理費	84	80	4	(北九州高速道路)	17,504	17,680	△ 176
北九州駐車場管理費	49	50	△ 1	ETCマイレージ還元負担金収入	220	221	△ 1
一般管理費	1,448	1,356	92	(福岡高速道路)	195	196	△ 1
一般管理費	1,265	1,178	87	(北九州高速道路)	25	25	△ 1
その他	182	178	4	駐車場料金収入	232	221	10
引当金等繰入	39,201	40,491	△ 1,290	(福岡駐車場)	124	119	5
道路事業損失補てん引当金繰入	2,758	2,790	△ 32	(北九州駐車場)	107	102	5
(福岡高速道路)	1,955	1,972	△ 17	その他	193	162	31
(北九州高速道路)	803	819	△ 15	受託業務収入	36	178	△ 142
償還準備金繰入	36,443	37,701	△ 1,258	負担金事業受入金	0	58	△ 58
(福岡高速道路)	26,698	27,555	△ 857	業務外収益	44	73	△ 29
(北九州高速道路)	9,745	10,146	△ 401	受取利息	0	1	△ 0
受託業務費	36	178	△ 142	雑益 他	44	72	△ 29
負担金事業費	0	58	△ 58	特別利益	590	410	180
業務外費用	4,069	4,884	△ 815	道路事業損失補てん引当金取崩益	364	261	103
債券利息	3,298	3,895	△ 597	災害復旧事業費補助金収入	226	149	77
借入金利息	615	828	△ 213				
雑損 他	155	160	△ 5				
特別損失	590	410	180				
災害による損失	590	410	180				
当期利益金	24	18	5				
合 計	61,433	61,593	△ 160	合 計	61,433	61,593	△ 160

(注) 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

【道路部門】

(1) 福岡高速道路

- ① 経常収益は、429億6,500万円(対前年度比2,800万円の増)となりました。新型コロナウイルス感染症の流行に伴う外出自粛の影響で通行台数は減ったものの、消費税増税に伴う通行料金の値上げ等により道路料金収入は増加しました。(通行台数は、前年度と比べ1日当たり2,101台の減少)
- ② 経常費用(償還準備金繰入を除く)は、162億6,700万円(対前年度比8億8,500万円の増)となりました。道路補修費及び納付消費税が増加したためです。
- ③ 道路事業における収入から管理費と支払利息等を差引いた収支差である償還準備金繰入は、266億9,800万円(対前年度比8億5,700万円の減)となり、道路の建設に投下した借入金の返済に充当しました。

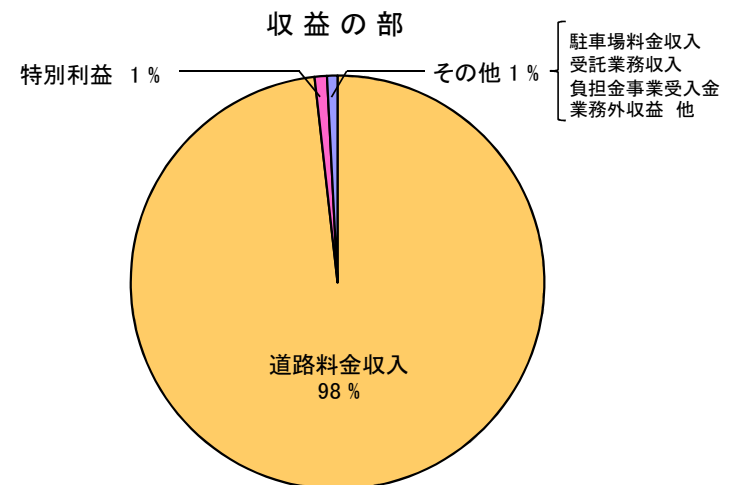
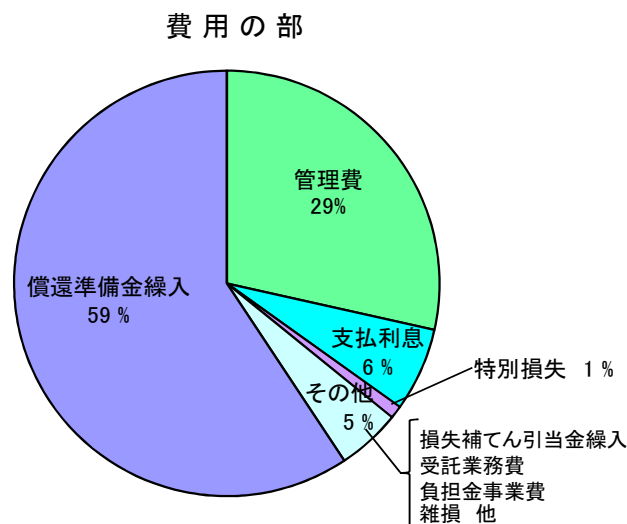
(2) 北九州高速道路

- ① 経常収益は、176億800万円(対前年度比1億7,800万円の減)となりました。消費税増税に伴う通行料金の値上げ等、料金収入の増加要因があったものの新型コロナウイルス感染症の流行に伴う外出自粛の影響で通行台数が減り、道路料金収入が減少しました。(通行台数は、前年度と比べ1日当たり2,006台の減少)
- ② 経常費用(償還準備金繰入を除く)は、78億6,300万円(対前年度比2億2,300万円の増)となりました。道路補修費及び納付消費税が増加したためです。
- ③ 道路事業における収入から管理費と支払利息等を差引いた収支差である償還準備金繰入は、97億4,500万円(対前年度比4億100万円の減)となり、道路の建設に投下した借入金の返済に充当しました。
- ④ 平成30年7月に発生した豪雨に伴う災害復旧事業費として特別損失を5億9,000万円計上し、特別利益として災害復旧事業費補助金収入(2億2,600万円)及び道路事業損失補てん引当金取崩益(3億6,400万円)による同額を計上しました。

【駐車場部門】

- ① 当期利益は2,400万円(対前年比500万円の増)となりました。

☆損益計算書の内訳(道路部門・駐車場部門の合計)



4. 営業中道路の収支状況(収支率)

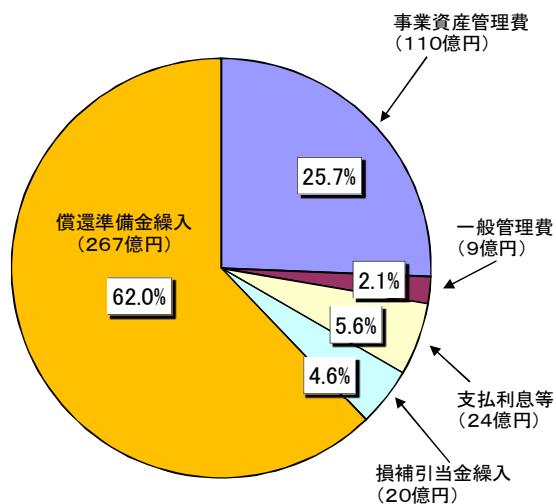
「収支率」は、100円の収入を得るのにどのくらいの費用が必要であったかを示すもの。

(単位: 百万円)

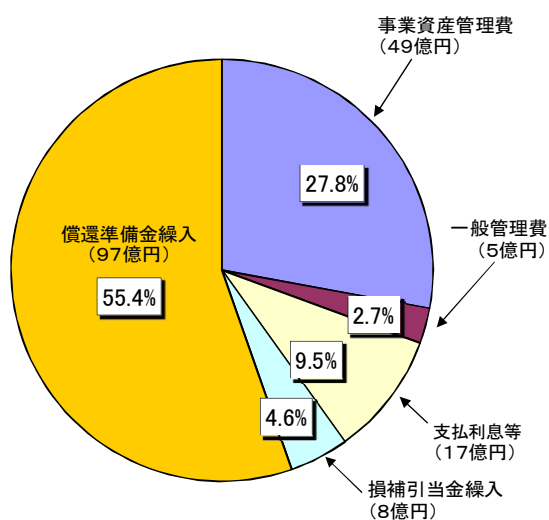
	福岡高速道路								北九州高速道路								合 計							
	営業中道路に係る費用							収支率 B/A × 100	営業中道路に係る費用							収支率 B/A × 100	営業中道路に係る費用							収支率 B/A × 100
	収益 A	事業 資産 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	計 B	償還 準備金 繰入額 A-B		収益 A	事業 資産 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	計 B	償還 準備金 繰入額 A-B		収益 A	事業 資産 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	計 B	償還 準備金 繰入額 A-B	
R01	42,965	11,023	891	2,398	1,955	16,267	26,698	37.9%	17,608	4,908	481	1,671	803	7,863	9,745	44.7%	60,573	15,932	1,372	4,069	2,758	24,130	36,443	39.8%
H30	42,938	9,688	814	2,908	1,972	15,382	27,555	35.8%	17,786	4,379	467	1,976	819	7,640	10,146	43.0%	60,723	14,067	1,281	4,884	2,790	23,022	37,701	37.9%

(注) 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

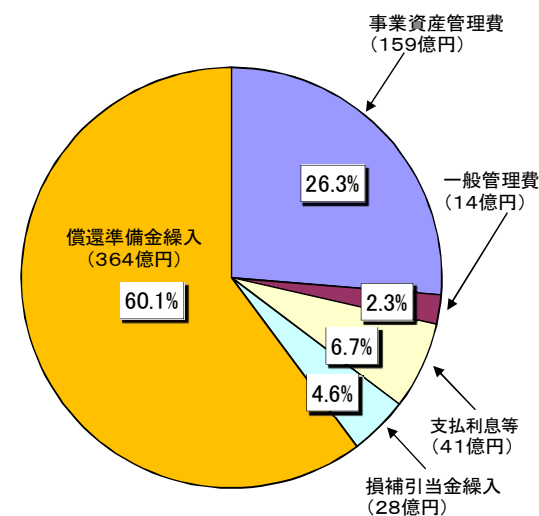
福岡高速(費用の内訳)



北九州高速(費用の内訳)



合 計(費用の内訳)



5. 財務状況

令和元事業年度貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

(単位:百万円)

資 産 の 部				負 債 及 び 資 本 の 部			
勘 定 科 目	R1年度	H30年度	増減額	勘 定 科 目	R1年度	H30年度	増減額
	A	B	A－B		A	B	A－B
流動資産	9,097	7,412	1,685	流動負債	50,986	70,716	△ 19,730
固定資産	1,273,515	1,266,939	6,576	固定負債	451,515	463,127	△ 11,612
事業資産	1,254,888	1,253,337	1,552	福岡北九州高速道路債券	323,800	314,800	9,000
(福岡高速道路)	878,843	877,289	1,553	長期借入金	120,512	141,144	△ 20,632
(北九州高速道路)	376,046	376,047	△ 2	退職給与引当金	152	134	18
事業資産建設仮勘定	15,796	10,881	4,915	ETCマイレージ引当金	162	159	2
(福岡高速道路)	15,796	10,881	4,915	資産見返交付金	6,889	6,889	0
(北九州高速道路)	0	0	0	特別法上の引当金等	556,239	517,401	38,837
有形固定資産	1,638	1,651	△ 13	道路事業損失補てん引当金	37,650	35,255	2,394
その他	1,193	1,070	123	(福岡高速道路)	15,162	13,207	1,955
				(北九州高速道路)	22,488	22,048	439
繰延資産	885	904	△ 19	償還準備金	518,589	482,146	36,443
				(福岡高速道路)	428,915	402,217	26,698
				(北九州高速道路)	89,674	79,929	9,745
				(負債合計)	1,058,739	1,051,244	7,496
				基本金	223,659	222,936	723
				剰余金	1,100	1,076	24
				(資本合計)	224,758	224,012	747
資 産 合 計	1,283,497	1,275,255	8,242	負 債・資 本 合 計	1,283,497	1,275,255	8,242

(注) 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

(資産の状況)

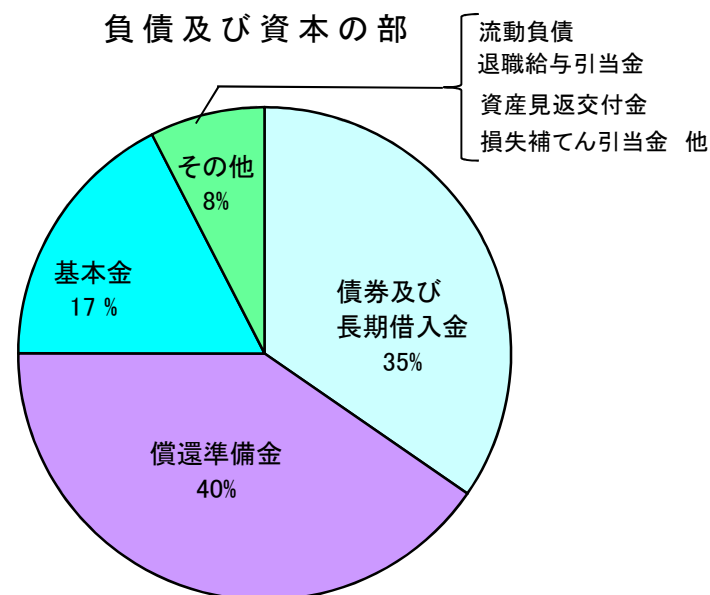
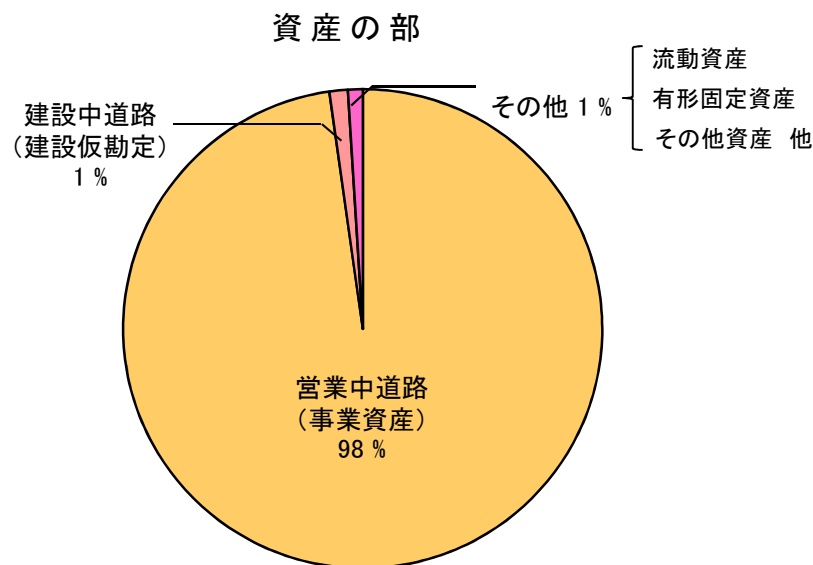
資産の総額は、1兆2,834億9,700万円となっています。このうち、営業中の道路資産は1兆2,548億8,800万円、工事中道路の道路資産は157億9,600万円となっており、これらの道路資産が資産全体の約99%を占めています。

(負債及び資本の状況)

負債及び資本の総額は、1兆2,834億9,700万円となっています。主なものは、道路債券などの借入金残高が4,888億3,600万円(流動負債計上分の1年以内返済予定債券・借入金445億2,400万円及び固定負債計上分4,443億1,200万円の合計額)、営業中道路の建設・改良に投下した借入金の返済に充てた額(償還準備金)が5,185億8,900万円(福岡高速4,289億1,500万円、北九州高速896億7,400万円)、地方公共団体からの出資金が2,236億5,900万円となっています。

(注) 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

☆貸借対照表の内訳



6. 償還準備金の積立状況

【福岡高速道路】

(単位: 百万円)

	営業中道路 (償還対象額) (A)	償還準備金 (B)	未償還残高 (A-B)	償還率 (B/A) × 100
R01	876,529	428,915	447,614	48.9%
H30	874,976	402,217	472,759	46.0%

【北九州高速道路】

(単位: 百万円)

	営業中道路 (償還対象額) (A)	償還準備金 (B)	未償還残高 (A-B)	償還率 (B/A) × 100
R01	371,470	89,674	281,796	24.1%
H30	371,471	79,929	291,543	21.5%

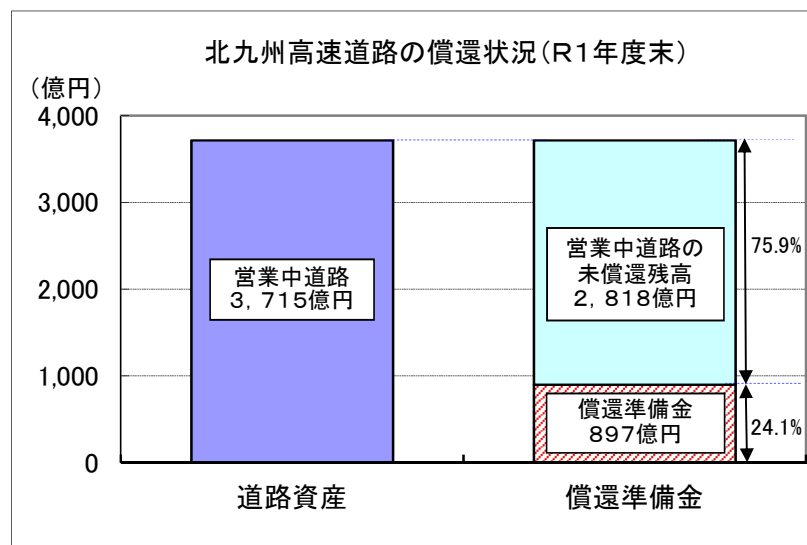
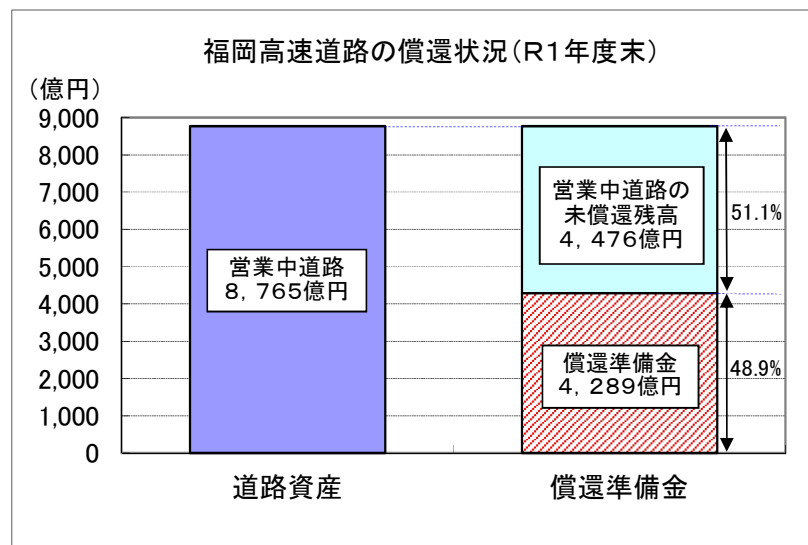
「営業中道路(償還対象額)」とは、営業中道路の建設に投下した額の合計額(営業中道路の資産総額)から、償還を要しない資産見返交付金を控除した額。

「償還準備金」とは、当該年度末までの償還準備金繰入額の累計額。

「未償還残高」とは、営業中道路について今後償還準備金を積み立てて、返済をしていくことになる金額。

(単位: 百万円)

	営業中道路の 資産総額 (a)	資産見返 交付金 (b)	営業中道路 (償還対象額) (a-b)
福岡高速道路	878,843	2,313	876,529
北九州高速道路	376,046	4,576	371,470



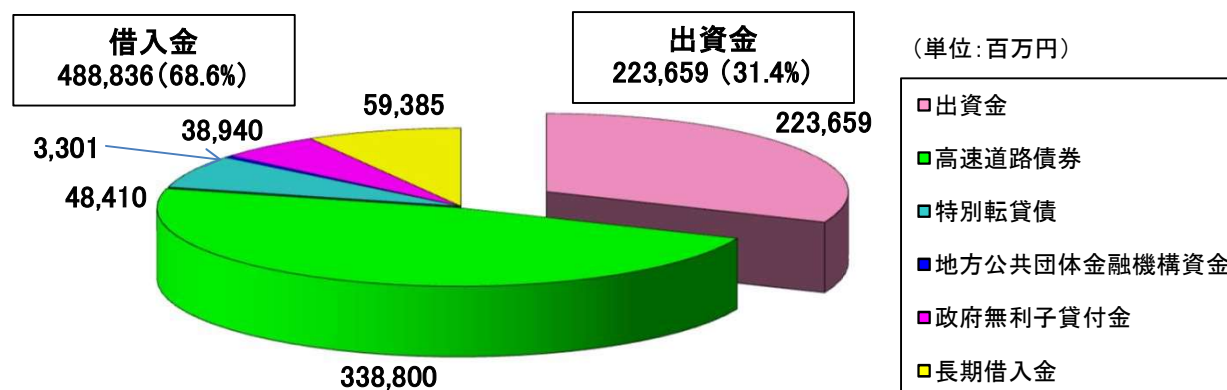
7. 長期借入金の残高状況

令和元年度末借入金残高

(単位:百万円)

		全 体			路線別内訳					
					福岡高速			北九州高速		
		R1年度	H30年度	増減額	R1年度	H30年度	増減額	R1年度	H30年度	増減額
		A	B	A-B	A	B	A-B	A	B	A-B
設立団体出資金		223,659	222,936	723	166,163	165,440	723	57,496	57,496	0
借入金	高速道路債券	338,800	343,000	△ 4,200	183,358	183,382	△ 24	155,442	159,618	△ 4,176
	特別転貸債	48,410	60,292	△ 11,882	42,285	52,275	△ 9,990	6,125	8,017	△ 1,892
	地方公共団体金融機構資金	3,301	4,416	△ 1,115	2,683	3,577	△ 894	618	838	△ 220
	政府無利子貸付金	38,940	47,350	△ 8,410	31,990	38,145	△ 6,156	6,950	9,205	△ 2,255
	長期借入金	59,385	65,210	△ 5,825	25,752	30,101	△ 4,349	33,633	35,109	△ 1,476
	計	488,836	520,268	△ 31,432	286,068	307,480	△ 21,413	202,769	212,788	△ 10,019
合計		712,495	743,204	△ 30,709	452,231	472,920	△ 20,690	260,264	270,284	△ 10,019

(注) 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。



8. 償還計画と実績の対比

【令和元年度決算】

(単位: 億円)

道路名		収益(a)	費用(b)				償還準備金繰入 (a-b)	償還準備金	事業資産 (交付金除く)	償還率(%)
			管理費(うち消費税)	損失補てん	金利	合計				
合 計	決算	606	173 (36)	28	41	241	364	5,186	12,480	42%
	計画	550	132 (20)	26	139	297	253	4,541	12,480	36%
福岡高速	決算	430	119 (25)	20	24	163	267	4,289	8,765	49%
	計画	360	91 (13)	17	87	195	165	3,642	8,765	42%
北九州高速	決算	176	54 (11)	8	17	79	97	897	3,715	24%
	計画	190	40 (8)	9	52	102	88	900	3,715	24%

※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

●償還計画の対比方法

令和元年度決算(損益計算)と償還計画(収支計算)を比較するため、計画の値に調整を加えています。

償還計画は、福岡高速は平成24年7月料金認可を、北九州高速は平成20年10月料金認可を使用しています。

償還率は、償還準備金を事業資産から交付金を差し引いたもので除して算出しています。

●損失補てん引当金

損失補てん引当金は、個々の道路で将来事情の不可測性等により償還計画満了時に借入金等が残った場合に備えて、その補てんに充てるため料金収入の一部を積み立てているもので、道路整備特別措置法に定められています。

すなわち損失補てん金は、決算では費用として扱っていますが、将来のリスクに備え、公社の経営の安定を図る内部保留金としての性格を持っており、その額は借入金の返済余裕を表しています。

9. 平成30・令和元事業年度福岡北九州高速道路公社キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	R元事業 年度 A	H30事業 年度 B	増減額 A－B
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
当期償還準備金繰入	364.4	377.0	△ 12.6
当期利益	0.2	0.2	0.1
減価償却費	1.6	1.6	0.0
債券発行諸費等償却	1.3	1.3	△ 0.1
退職給与引当金等の増減額	0.1	△ 0.3	0.4
E T Cマイレージ引当金の増減額	0.0	0.0	0.0
損失補てん引当金の増減額	23.9	25.3	△ 1.4
債券利息	33.0	39.0	△ 6.0
借入金利息	6.2	8.3	△ 2.1
未収金(投資活動、財務活動を除く)の増減額	0.9	△ 0.5	1.4
未払金(投資活動、財務活動を除く)の増減額	13.3	△ 9.0	22.3
その他の増減額	0.2	△ 0.2	0.4
小 計	445.2	442.6	2.6
利息の受取額	0.0	0.0	0.0
債券利息等の支払額	△ 33.4	△ 39.6	6.1
借入金利息の支払額	△ 6.2	△ 8.4	2.2
営業活動によるキャッシュ・フロー	405.5	394.7	10.8
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
事業資産の取得による支出	△ 11.3	△ 16.4	5.0
建設仮勘定の取得による支出	△ 66.6	△ 45.0	△ 21.7
固定資産の取得による支出	△ 1.7	△ 1.6	△ 0.1
事業資産等の売却による収入	0.0	0.8	△ 0.7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 79.6	△ 62.2	△ 17.5
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入による収入	0.0	0.0	0.0
短期借入金の返済による支出	0.0	0.0	0.0
長期借入による収入	88.8	102.5	△ 13.7
長期借入金の返済による支出	△ 361.2	△ 329.6	△ 31.7
債券の発行による収入	239.1	283.9	△ 44.8
債券の償還による支出	△ 282.0	△ 398.0	116.0
出資金の受入による収入	7.2	7.7	△ 0.5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 308.2	△ 333.5	25.3
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0.0	0.0	0.0
V 現金及び現金同等物の増加額	17.7	△ 0.9	18.7
VI 現金及び現金同等物期首残高	18.5	19.5	△ 0.9
VII 現金及び現金同等物期末残高	36.3	18.5	17.7

※端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

(注記) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金・預金	36.3 億円	18.5 億円	17.7 億円
現金及び現金同等物	36.3 億円	18.5 億円	17.7 億円

10. 料金収入・通行台数・供用延長の推移（全体）

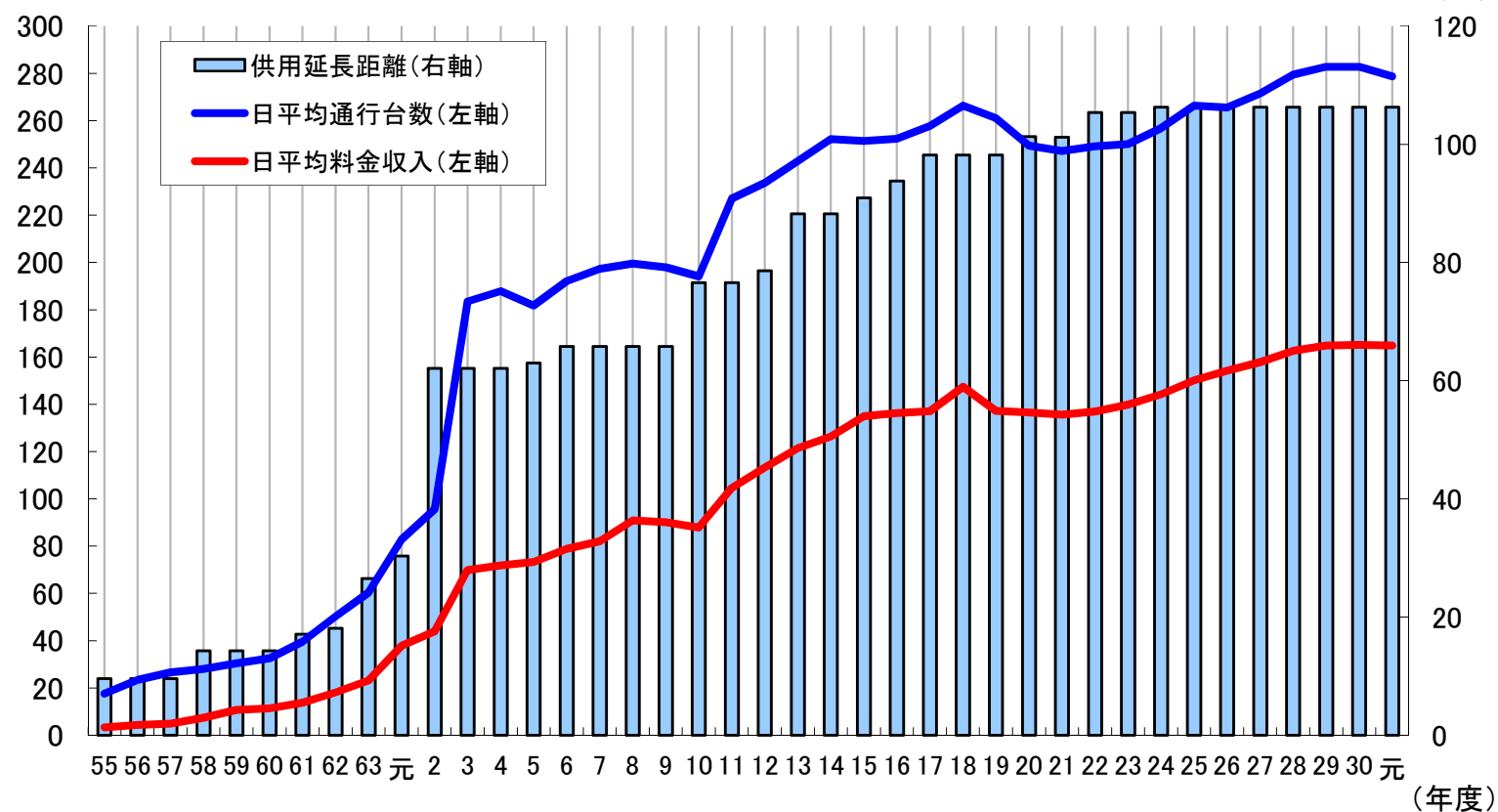
令和元年度

料金収入 **603億円**

日平均料金収入 **1.6億円**

日平均通行台数 **27.9万台**

日平均料金収入・通行台数
(百万円・千台)



供用延長距離	
令和2年3月末現在 106.3km	
料 金	
福岡高速	
普通車	630円
大型車1,	260円
北九州高速	
普通車	520円
大型車1,	050円

1 1. 供用実績

〔福岡高速道路〕

供用区分	供用年月日 料金改定日	供用延長 (km)		供用区間	料 金 (円)	
		区間	累計		大型車	普通車
一次供用	S55. 10. 20	5. 9	5. 9	香椎～東浜	400	200
	S57. 3. 27	－	5. 9	貝塚入口		
	S58. 6. 30	－	5. 9	貝塚出口		
二次供用	S58. 10. 6	1. 5	7. 4	東浜～築港	700	350
三次供用	S61. 4. 23	0. 8	8. 2	千鳥橋 J C T～呉服町		
四次供用	S62. 11. 6	1. 0	9. 2	築港～天神北	800	400
五次供用	S63. 10. 31	2. 1	11. 3	天神北～西公園		
				千鳥橋 J C T (渡り線)		
六次供用	H1. 3. 4	5. 2	16. 5	西公園～百道	1, 000	500
				呉服町～榎田		
				豊 J C T～空港通		
				料金改定 (消費税3%転嫁)		
	H1. 10. 1	－	16. 5	名島本線料金所拡幅	1, 030	510
	H2. 12. 25	－	16. 5	東浜西出口		
	H3. 3. 21	－	16. 5	名島出入口		
	H4. 4. 23	－	16. 5	東浜西入口		
	H4. 7. 1	－	16. 5	香椎東～香椎		
	H5. 4. 2	0. 9	17. 4	榎田～月隈北		
	H6. 4. 4	2. 8	20. 2	料金改定 (回数通行券料金)		
七次供用	H11. 3. 27	10. 8	31. 0	月隈～水城	1, 100	550
				貝塚 J C T～粕屋		
	H12. 3. 28	－	31. 0	料金改定・貝塚入口		
十次供用	H12. 11. 21	0. 5	31. 5	貝塚 J C T (渡り線)	1, 200	600
十一次供用	H13. 10. 13	5. 3	36. 8	百道～福重		
十二次供用	H14. 3. 10	1. 9	38. 7	粕屋～福岡 I C		
	H15. 5. 1	－	38. 7	料金改定	1, 230	620
十三次供用	H15. 5. 1	2. 7	41. 4	月隈 J C T～板付		
十四次供用	H16. 6. 27	2. 9	44. 3	西月隈出入口・板付～野多目		
十五次供用	H18. 3. 26	4. 4	48. 7	野多目～堤		
十六次供用	H20. 4. 19	3. 1	51. 8	堤～野芥		
十七次供用	H23. 2. 26	4. 1	55. 9	野芥～福重		
十八次供用	H24. 7. 21	0. 9	56. 8	福重 J C T (渡り線)		
	H26. 4. 1	－	56. 8	料金改定 (消費税5%→8%)	1, 260	630
	R1. 10. 1	－	56. 8	料金改定 (消費税8%→10%)	1, 260	630
備 考	福岡高速全号線に、ETC導入 (H18. 4. 1)					

(注) 料金改定日は、一次供用を除き供用年月日の翌日です。但し、料金改定のみの場合は同日です。

〔北九州高速道路〕

供用区分	供用年月日 料金改定日	供用延長 (km)		供用区間	料 金 (円)	
		区間	累計		大型車	普通車
一次供用	S55. 10. 20	3. 7	3. 7	日明～篠崎北	300	150
二次供用	S58. 10. 6	3. 2	6. 9	篠崎北～若園	700	350
				東港出入口		
	S59. 4. 21	－	6. 9	篠崎南出口		
三次供用	S61. 12. 2	2. 0	8. 9	若園～横代		
				篠崎南入口		
四次供用	S63. 12. 17	1. 1	10. 0	愛宕 J C T～下到津		
五次供用	H1. 8. 30	2. 8	12. 8	日明～戸畑（消費税3%転嫁）	720	360
六次供用	H2. 3. 31	1. 0	13. 8	戸畑～若戸		
				東港 J C T～小倉駅北		
				西港出口		
				東港出入口廃止		
七次供用	H3. 3. 31	31. 8	45. 6	春日～馬場山 一部区間料金（4号線）	300	150
					400	200
					500	250
					600	300
					720	360
	H5. 4. 1	－	45. 6	料金改定	720	360
	H7. 9. 30	－	45. 6	山路出入口	900	450
	H9. 6. 1	－	45. 6	料金改定（回数通行券料金）		
八次供用	H12. 7. 26	1. 5	47. 1	長野～横代		
	H12. 11. 1	－	47. 1	料金改定	1, 000	500
九次供用	H13. 7. 2	2. 4	49. 5	枝光出入口～大谷出入口 大谷 J C T		
十次供用	H18. 2. 26	－	49. 5	小倉東IC接続		
	H26. 4. 1	－	49. 5	料金改定（消費税5%→8%）	1, 030	510
	R1. 10. 1	－	49. 5	料金改定（消費税8%→10%）	1, 050	520
備 考	九州縦貫自動車道八幡ICと北九州高速との接続ランプに金剛出口を新設（H17. 3. 31供用） 九州縦貫自動車道八幡ICと北九州高速との接続ランプに金剛入口を新設（H18. 3. 4供用） 北九州高速全号線に、ETC導入（H20. 11. 1） 北九州高速5号線と北九州市道東田出入口が接続（H22. 12. 15）					

（注）料金改定日は、一次、七次供用を除き供用年月日の翌日です。但し、料金改定の場合のみは同日です。